

三重県東日本大震災支援本部 第32回本部員会議 概要

- 1 開催日時：令和2年2月19日（水）11:05～11:20
- 2 開催場所：県庁3階プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：以下のとおり（●説明、☆意見）

1 各部署の取組について

- 防災対策総務課長 資料1により説明

2 東日本大震災九周年追悼式について

- 防災対策総務課長 資料2により説明

3 現地派遣職員による活動報告について

- 宮城県気仙沼地方振興事務所水産漁港部
（農林水産部水産基盤整備課より派遣）
松田技師から資料3により説明

☆農林水産部長

- ・地盤隆起の話について、現場でも予想されていなかったことであるかと思うし、今後も参考になると思った。意欲低下という部分は、どうしても行政は「やらないといけない」ということで現場の声を十分に聴くことなく進めてしまうこともあるかもしれないが、現場の声を聴くことを大切にしていかなければいけないと思う。
- ・今後も現場の技師として、今回の経験で色々気づいたことを業務に生かして行ってほしい。

☆知事

- ・地盤の隆起について聞いたことはあったが、具体的に設計等を変更しているというのは初めて見せてもらい、非常にリアリティのある話だと思った。
- ・漁業者の意欲低下にも配慮しなくてはならない、ハードをやっていく時のソフトの視点も大事だということを、改めてリアリティを持って話を聞けてよかった。
- ・農業や土木といった一次産業にこれからも関わっていくと思うので、ハードとソフト両面を考えながら進めていってもらえると、ソフトが生きるハードということも大事なので、そういった視点で仕事をしていただけるとありがたいと思う。

（知事からの指示事項）

- ・東日本大震災からもうすぐ9年を迎える。
- ・今年も追悼式を県庁講堂で実施する予定であるが、時間が経つにつれ、震災の記憶の風化が懸念されている。

- ・私も今年度は福島県を訪れたが、水産物の「安全」が「安心」に繋がっていない、つまり基準上は安全だけれども消費者の購入に繋がっていないという話も聞いた。被災地に対して、引き続き息の長い支援を行ってほしい。
- ・派遣職員から写真の話等もあったとおり、復旧・復興について日頃からの情報整理の必要性を感じた。また、災害をイメージすることが大切だということがわかった。
- ・今年度、条例改正で「防災の日常化」の考え方を位置づけ、また、県職員の「防災人材育成指針」も作成する。今話があったような点を踏まえて、日頃からの事前の備えをしっかりとしてほしいと思う。